



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第14号

令和5年7月20日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 「三者懇談」ありがとうございました

18日(火)から本日まで、大変暑い中を「三者懇談」にご来校いただき、ありがとうございました。

今回は「グループ担任制」になって初めての三者懇談ということで、各学年の先生方も事前に、それぞれの生徒について「何を伝えるか」「何を話し合うか」を学年スタッフで話し合い、また経験の浅い教員が増えていることもあって、それぞれに事前リハーサル等も行っており、懇談当日を迎えました。

今回の懇談でお話した内容については、学年内・学校内で確実に情報共有をするとともに、学校として検討・改善が必要な内容については、「チーム佐織」一丸となって対応するよう努めていきます。

なお、三者懇談が終了したことを受けて、本日夕方から2回目の「グループ担任に関するアンケート」を保護者・生徒を対象に実施します。生徒につきましては、夏休み中に各自が持ち帰りをして市でのタブレット端末から「生徒用Cラーニング」にて回答をします。ご家庭でのWi-Fi接続環境の設定・確認にご協力をいただけると助かります。お忙しい中お世話をおかけしますが、アンケートの回答にご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



♪ 第1回「学校保健委員会」を開催しました

13日(木)の午後には、本校PTAから2名の保護者にご参加いただき、第1回「学校保健委員会」を開催しました。今回の委員会では、4月から実施をした各種健診結果の状況についての報告、そして結果からの保健的課題について情報交換を行いました。

今年度の健診結果から見る生徒の状況としては、①身体的発育は標準値程度 ②歯科検診の結果はかなり良い状況 ③視力低下の傾向が著しい、という3点が挙げられました。今回の委員会では、その中から「視力低下」について、教員と保護者が情報交換をして、以下のような意見が出て、有意義な会となりました。



【情報交換より】

- ・ タブレット端末やスマートフォンの使用、また電子機器使用の際の姿勢の悪さが視力低下に影響しているのではないか。
- ・ とりわけ「近視」が増加傾向にあるため、屋外での目の使用をすすめたり、目の周りの筋肉をほぐすようなマッサージをしたりするなど、学校・家庭でできる工夫を考えていってはどうか。
- ・ 「目に良い食材給食」や「視力低下体験」の実施など、より発想豊かな取組を考えていけるとよい。

今回の学校保健委員会については、都合がつかなかったために学校医の皆様に参加をしていただくことができませんでしたが、今回の話し合いで出た意見やアイデアを伝えて、さらに専門的見地からの意見やアドバイスをいただいた上で今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。

なお、今年度の「第2回学校保健委員会」は、1月18日（木）の午後に「2年思春期講座」との合同開催で、包括的性教育の実践を推進している産婦人科医をお招きした講演会を実施します。保護者につきましては学年関係なく、どなたでも参加可能となりますので、ぜひ多くの皆様のご参加をお願いいたします。

♪ 「夏休みの過ごし方」について、ご協力をお願いします

4月からの学校生活をがんばった子どもたちは、明日からいよいよ待ちに待った「夏休み」になります。ご家族の皆様からしたら「とうとう夏休みか…」と少し憂鬱に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、日ごろは学校があることで、なかなかできない「学び」や「経験」をする有意義な機会を設けたり、また学校があるとなかなか行けない「病院の受診」等も、必要な方はこの機会に計画をしたりしていただけたらと思います。また、「夏」という季節柄、水難事故や熱中症の対策についても、ぜひご家庭でもご指導ご協力をお願いいたします。

先日、新聞報道もあったように、文部科学省からは「休み中の子どもたちの心の声」をできるだけキャッチをして、みんなで子どもたちを見守る体制を構築するよう方針が出されています。本校では、普段の学校生活で実施している「心と体のアンケート」を、夏休み中の平日も継続実施をして、子どもたちが困ったとき悩んだときに「SOS」が発信できる場を少しでも確保していきたいと考えています。このこともあって、夏休み中に市のタブレット端末の持ち帰りをするなどで、ご家庭での使用方法を確認するなど、保護者の皆様にはご苦勞をおかけいたしますが、これからの社会を生きる子どもたちの「大切な学び」の一つと捉えて、ご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

♪ 「夏休み」といえば…

いろいろと楽しみなこともある夏休みですが、子どもたちにとって夏休みといえば、「部活動」と「宿題・勉強」が、大きな目標・課題になるのではないのでしょうか。

「部活動」については、運動部は7月16日（日）に開催された「海部地区中総体」をもって、全ての部の3年生が「最後の大会」を終了しました。夏休み中には、各部で「引退式」などを予定しているところもあるかと思いますが、1・2年生の皆さんは先輩からのバトンをしっかりと引き継いで、これまで以上によりよい活動とする「土台」を、夏を通じて築いていってほしいと思います。また、文化部の皆さんは、コンクールや文化祭で3年生が締めくくりを迎えるところが多いと思います。1・2年生は、まだまだこの夏を通じて先輩たちから学ぶ機会もあると思いますが、部員みんなでしっかり力を合わせて、よりよい最後の締めくくりをしてほしいと思います。

「宿題・勉強」については、特に気が重い生徒（中には保護者も…）も多いと思います。今年度は、これまで何十年と続いてきた「夏休みの日誌」（少なくとも私が小中学生の頃にはすでにありました）が、尾張地区の全ての中学校で「廃止」となったことが一つの大きな「変化」ですが、廃止になったねらいとしては「自主的・主体的な学びを進めてほしい」という観点があったと聞いています。

各学年の教科担当からは、夏休みの課題として問題集やプリント類、さらには自由選択課題などが提示されていると思いますが、本校では「問題集やプリントを、とにかく空欄を埋めて提出する」という旧来的な課題の取組にならないよう教員間で共通認識をもち、「自主的・主体的な取り組み方の工夫」を教科担当から生徒に夏休み前のところでそれぞれ伝えてもらっています。先生方からのアドバイスを参考にしながら、それぞれのご家庭でも、ぜひ「宿題・勉強」の取り組み方についてお子様と相談していただき、こういった面でも「充実した夏」になるようご協力をいただけたらと思います。

それでは、9月1日に元気な皆さんに再開できることを願っています！皆さん、良い夏をお過ごしください！